



## 【感染症対処基幹要員養成訓練】

平成30年5月24日・25日

自衛隊札幌病院（病院長：上部陸将）は、5月24日（木）・25日（金）感染症対処基幹要員養成訓練を実施しました。

本訓練は、**新型インフルエンザ等の強毒性感染症患者発生下における診療等業務**はもとより、**高病原性鳥インフルエンザ発生時の家禽に対する防疫業務における感染防護支援**に必要な基礎的能力を維持向上することを目的として、各課等の基幹要員（30名）がPPE（personal protective equipment：個人用防護具）の着脱要領を演練しました。

参加者は、PPE着脱後、手袋に塗布した模擬汚染物質（蛍光塗料）が身体へ付着していないかブラックライトで確認することにより、着脱が適切であったか評価されるとともに、感染対策マスク（N95マスク）を装着した状態で噴霧甘味物質を感知できるかどうかでマスク密着性を確認（フィットテスト）し、PPE及びN95マスクそれぞれの正しい装脱着について反復演練し、練度向上を図りました。



PPE着衣要領の説明



相互に確認しつつPPEを着衣



相互に確認しつつPPEを着衣





フィットテストによるN95マスクの密着性確認



ブラックライト照射による汚染確認